議案審議（１）

平成２６年度事業報告書（案）

日本更生保護学会

１　理事会

（１）平成２６年６月２０日（金）：第１回日本更生保護学会理事会

（２）平成２６年１２月６日（土）：第２回　〃　（龍谷大学深草キャンパス）

２　更生保護学会シンポジウムのための準備打合会等

（１）平成２６年５月１６日（金）：龍谷大矯正・保護総合センター（生島副理事長）

（２）平成２６年１０月２０日（月）：龍谷大矯正・保護総合センター（小長井理事）

３　総会

平成２６年１２月６日(土)

正会員７４１人のうち、出席者１４１人、委任状提出者４０４人（１１月４日現在）

４　第３回更生保護学会大会

第１日目　大会長挨拶

（総会）　会場校学長挨拶

総会開会

基調講演：寮美千子氏「詩が開いた心の扉」

学会企画：シンポジウム

司会：石塚伸一教授（学会員）

情報交流会

第２日目　大会企画シンポジウム及び自由報告

１　保護司活動の支援―更生保護サポートセンターの現状と課題を中心に―

２　温故知新―ＢＢＳ発祥の志をいかに活かすか―

３　更生保護における弁護士の役割―現状と課題―

４　薬物依存とシームレスな支援―刑の一部執行猶予制度導入の意味と影響について―

５　医療観察―精神障害者等社会復帰促進モデル活動推進事業―

6　自由報告

5　学会誌『更生保護学研究』第４号及び５号の発刊

発刊予定日：第４号は平成２６年７月４日（学会の抄録）
第５号は平成２６年１２月６日

編集委員会委員長（辰野　文理）

6　学会誌『更生保護学研究』の寄贈

編集委員会及び理事会において、更生保護学研究を理事等が関係する大学図書館等に寄贈する件が了承され下記大学等に寄贈した。

九州大学附属図書館、早稲田大学図書館、慶應義塾大学メディアセンター本部、福島大学附属図書館、山梨県立大学図書館、国士舘大学図書館、立教大学池袋図書館、法務図書館

7　会報の発行（ホームページに掲載した）

５月１３日　国際犯罪学会第１７回世界大会のご案内
７月１５日　日本更生保護学会開催要領・同第３回大会チラシ＆申込書
１２月１５日　第３回日本更生保護学会総会・同総会結果報告

8　関係学会、関係機関等との連携の強化

関係学会との連携を図るとともに、刑事司法の実務に当たる法務省、検察庁等の関係機関とも連携を強化する。

9　世界保護観察会議等に対する支援

（１）第２回世界保護観察会議（2015 年 7 月 14～16 日、米国）について、生島・小長井理事が参画して、日本の更生保護について共同報告を行うことに対し参加費等の助成を行う。

（２）韓国矯正学会との交流について、藤本会長より提案がなされ、韓国保護観察学会との関係や保護局、矯正局との調整の上、具体化を図ることになった。

議案審議（1）

平成26年度収支決算書（案）

（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

日本更生保護学会

収入の部　6,064,003 円
支出の部　4,931,226 円
当期繰越金　1,132,777 円

収入の部　（単位：円）

科目		予算額	決算額	増減（△）額	備考
助成金収入		3,500,000	3,500,000	0	
	日本更生保護協会	3,000,000	3,000,000	0	
	全国保護司連盟	200,000	200,000	0	
	日立みらい財団	100,000	100,000	0	
	株式会社ひまわりサービス	200,000	200,000	0	
会費収入		2,165,000	1,732,000	433,000	
	正会員会費	2,100,000	1,677,000	423,000	3,000円×559人
	学生会員会費	15,000	18,000	△ 3,000	BBS会員含む　1,500円×12人
	賛助会費	20,000	5,000	15,000	5,000円×1人
	入会金収入	30,000	32,000	△ 2,000	1,000円×32人（新規加入者分）
大会関係収入		550,000	831,000	△ 281,000	
	大会参加収入	400,000	691,000	△ 291,000	参加会費2,000円×315人+1,000円×34人＝664,000円+当日欠席者25,000円
	その他の大会収入	150,000	140,000	10,000	30,000円×3社＋50,000円×1社
雑収入		5,000	1,003	3,997	利息等
合計		6,220,000	6,064,003	155,997	

支出の部　（単位：円）

科目		予算額	決算額	増減（△）額	備考
機関誌発行費		3,650,000	2,849,919	800,081	
	編集委員会	100,000	0	100,000	学会誌編集委員会諸費
	委託費	300,000	1,886,760	△ 1,586,760	学会誌編集事務委託　2回
	編集諸費	400,000	0	400,000	原稿料等
	印刷費	2,600,000	826,200	1,773,800	学会誌発行費1,000部×2回+抜き刷り
	発送諸費	250,000	136,959	113,041	学会誌発送関係
印刷製本費		100,000	63,922	36,078	
	諸印刷	100,000	63,922	36,078	封筒印刷等
通信運搬費		250,000	95,540	154,460	切手等
旅費交通費		0	26,460	△ 26,460	次年度打合せ交通費
役務費		100,000	566,233	△ 466,233	5月～3月　アルバイト
広報活動費		100,000	58,296	41,704	ホームページ更新関係等
大会運営委員会関係費		1,100,000	1,109,402	△ 9,402	
	大会運営委員会	100,000	22,746	77,254	大会準備委員会諸費
	大会関係費	1,000,000	1,086,656	△ 86,656	印刷費（プログラム等）　通信運搬費参加者用はがき、シンポジスト謝金・打合せ等、アルバイト代、テープおこし
会議費		350,000	144,510	205,490	
	理事会費	200,000	121,590	78,410	理事会2回、監査関係諸費
	常務理事会費	150,000	22,920	127,080	常務理事会2回
雑費		100,000	16,944	83,056	諸雑費　振込手数料等
予備費		470,000	0	470,000	
合計		6,220,000	4,931,226	1,288,774	
当期繰越金		0	1,132,777	1,132,777	

議案審議（２）

平成２８年度事業計画書（案）

日本更生保護学会

１　年次大会の開催　第５回更生保護学会大会

日時場所：平成２８年１２月１０日～１１日早稲田大学早稲田キャンパス

開催趣旨：更生保護及び医療観察の諸問題について、実務家、篤志家、研究者が相集って学際的・学術的な立場から探求し、もって、犯罪者の社会内処遇及び医療観察対象者の地域処遇の充実と新たな発展に資する体系的な基盤を創成する。

大会運営委員会委員長：石川　正興

２　総会の開催

平成２８年１２月１０日午後１時３０分から早稲田大学早稲田キャンパスにおいて第５回総会を開催する。

３　学会誌『更生保護学研究』第８号及び９号の発刊

発刊予定日：第８号は平成２８年６月（学会の抄録）

第９号は平成２８年１２月

編集委員会委員長：辰野　文理

４　会報の発行

ホームページに掲載する。

５　関係学会、関係機関等との連携の強化

関係学会との連携を図るとともに、刑事司法の実務に当たる法務省、検察庁等の関係機関とも連携を強化する。

６　その他

議案審議（２）

平成28年度収支予算書(案)

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

日本更生保護学会

収　入　の　部　6,036,000 円
支　出　の　部　6,036,000 円

収入の部

（単位：円）

科目	予算額	前年度予算額	増減(△)額	備考
助成金収入	3,500,000	3,500,000	0	
日本更生保護協会	3,000,000	3,000,000	0	
全国保護司連盟	200,000	200,000	0	
日立財団	100,000	100,000	0	
株式会社ひまわりサービス	200,000	200,000	0	
会費収入	1,985,000	2,005,000	△ 20,000	
正会員会費	1,950,000	1,950,000	0	3,000円×650人
学生会員会費	15,000	15,000	0	BBS会員含む　1,500円×10人
賛助会費	0	20,000	△ 20,000	5,000円×4口
入会金収入	20,000	20,000	0	1,000円×20人（新規加入者分）
大会関係収入	550,000	550,000	0	
大会参加収入	400,000	400,000		参加会費2,000円×190人=380,000円　学生1,000円×20人＝20,000円
その他の大会収入	150,000	150,000		広告料 30,000円×5書店
雑収入	1,000	1,000	0	利息等
合計	6,036,000	6,056,000	△ 20,000	

支出の部

（単位：円）

科目	予算額	前年度予算額	増減(△)額	備考
機関誌発行費	3,150,000	3,300,000	△ 150,000	
編集委員会	50,000	50,000	0	学会誌編集委員会諸費
委託費	1,900,000	1,200,000	700,000	学会誌編集事務委託（学会誌制作関係2回）
編集諸費	50,000	100,000	△ 50,000	原稿料等
印刷費	1,000,000	1,800,000	△ 800,000	学会誌発行費1,000部×2回
発送諸費	150,000	150,000	0	学会誌発送関係
印刷製本費	100,000	100,000	0	
諸印刷	100,000	100,000	0	封筒印刷等
消耗品費	50,000	50,000	0	事務用品費等
通信運搬費	200,000	250,000	△ 50,000	切手等
旅費・交通費	30,000	30,000	0	事務連絡用
役務費	700,000	700,000	0	アルバイト　１名
広報活動費	100,000	100,000	0	ホームページ更新関係等
国際交流費	200,000	0	200,000	海外学会関係経費等
大会運営委員会関係費	1,100,000	1,100,000	0	
大会運営委員会	100,000	100,000	0	大会準備委員会諸費
大会関係費	1,000,000	1,000,000	0	旅費、謝金、役務費、印刷費、雑費、交流会費等
会議費	300,000	300,000	0	
理事会費	200,000	200,000	0	理事会諸費
常務理事会費	100,000	100,000	0	常務理事会諸費
雑費	50,000	50,000	0	諸雑費等
予備費	56,000	76,000	△ 20,000	
合計	6,036,000	6,056,000	△ 20,000	

議案審議（３）

退任に伴う理事・監事の選任（案）について

日本更生保護学会

（提案理由）

１　平成２７年５月３１日付で古澤恭一理事が退任され、その後任者に笠原和男氏を選出したので、総会の議決を要する必要がある。（会則第１４条３号）

２　新理事について

（１）定員２０人以上２５人以下、現在員２５人

（２）古澤恭一理事は平成２８年３月３１日で退任。

（３）新理事として、笠原和男会員（全国保護司連盟事務局長）

（４）任期は平成２８年４月１日から平成３０年３月３１日まで。

（監事の選任）

１　平成２８年３月３１日付けで久保潔監事が退任され、その後任者に寶金邦子会員を選任する旨、先ほどの理事会で議決され、会長から委嘱されたので報告します。（会則第１４条２号）

（名簿）

新理事・監事の名簿は別紙のとおり。

別紙

日本更生保護学会理事名簿

（順不同）

	役　名	氏　　名	所　　属
1	会　長	藤本　哲也	常磐大学
2	副会長	生島　　浩	福島大学大学院
3	常務理事 総務委員会	柿澤　正夫	(更)日本更生保護協会
4	〃 大会運営委員会	小長井　賀與	立教大学
5	〃 編集委員会	辰野　文理	国士舘大学
6	理　事	石川　正興	早稲田大学法学学術院
7	理　事	石塚　伸一	龍谷大学
8	理　事	今福　章二	法務省保護局
9	理　事	宇津木　朗	東京保護観察所
10	理　事	蛯原　正敏	関東地方更生保護委員会
11	理　事	太田　達也	慶應義塾大学
12	理　事	押切　久遠	法務省保護局
13	理　事	小畑　哲夫	(株)ひまわりサービス
14	理　事	久保　　貴	中国地方更生保護委員会
15	理　事	炭谷　　茂	(社福)恩賜財団済生会
16	理　事	染田　　恵	宇都宮保護観察所
17	理　事	高木　俊彦	東京福祉大学
18	理　事	土井　政和	九州大学大学院
19	理　事	平尾　博志	東北地方更生保護委員会
20	理　事	＊笠原　和男	(更)全国保護司連盟
21	理　事	前川　泰彦	東京福祉大学
22	理　事	丸山　晴夫	(更)全国更生保護法人連盟
23	理　事	御厨　勝則	山梨県立大学
24	理　事	守山　　正	拓殖大学
25	理　事	山田　憲児	全国就労支援事業者機構
1	監　事	西中間　貢	
2	監　事	＊寶金　邦子	

＊印は新理事・監事

（平成28年4月1日）

議案審議（４）

日本更生保護学会理事会・総会資料（2015.12.5）

副会長　生島　浩

役員の選任規定（案）について

現役員は，平成27年４月より３年間の任期であることから，新役員を平成29年12月の総会の議決により決定する必要がある。その手順について，選任規定（案）の概要及び決定手続を以下のとおりとしたい。

選任規定（案）の概要及び決定手続

１）選考委員会方式を採用する。

２）選考委員会の委員定員は10名とし，そのうち，５名は現理事とする。残りの５名については，会員の属する職種等の構成を参酌し，保護観察官・保護司・BBS 会員・大学関係者・その他の５領域から各１名を充てる。

３）選考委員会の委員長は委員の互選とする。

４）理事候補者の選出にあたっては，委員長が指名した幹事委員３名を中心とし，以下の手順で進める。

① 理事候補者名簿を作成する（平成29年６月の理事会承認）
② 選考委員会を開催し名簿を確定する（29年の大会初日の午前中）
③ 同日の理事会で審議後，総会に提案して理事候補者の承認を得る

５）本年の第４回大会総会において規定（案）を報告し，合わせてＨＰでも公告の上，意見を徴して次回平成28年大会総会で議決し，選考委員会を設置する。同日，選考委員についても承認を求める。

６）以上の日程で手続を進めるためには，平成28年６月の理事会にて選考委員の選定が必要である。

参考

会則第14条（役員の選任）　役員の選出は、次による。

（１）会長は、理事会が推薦し、総会の議決による。
（２）副会長、常務理事及び監事は、理事会の議決により、会長が委嘱する。
（３）理事は、別に定める規定により正会員の中から選出し、総会の議決による。

議案審議（５）

韓国矯正学会との交流について

：１９９０年に矯正行政に関する理論と実務の研究を目的として設立された学会である。年４回の学術誌（矯正研究）を発行し、アメリカ、オーストラリア、中国等との学術交流を実施している。

主な活動は、①矯正理論と実務に関する調査研究、②学術誌及びその他の刊行物発行、③矯正分野に関する図書、文献資料の収集、配布、④学術発表会及び討論会の開催、⑤矯正関連分野に対する教育及び訓練、⑥国内外の関連研究学術団体との学術交流等である。

１．沿革

１９９０年７月２０日：学会創立総会開催
会長及び顧問（全法務部長官）等委嘱
関連研究者（法学、矯正学、心理学等）１５７名
矯正職員（幹部）５１５名会員登録

２０１３年１２月１１日：第２０代会長選出、
朴相烈（パクサンヨル・光云大学校法科大学教授・刑事法）

２．構成員（会員数：６８０名）
（会長１名、副会長８名、常任理事２０名、顧問１２名、監事１名等）

会長：　朴相烈（パクサンヨル・光云大学校法科大学教授・刑事法）
副会長：李永根（京畿大学校・矯正学科、学長）等８名
常任理事：研究者１０名（姜景來（大丘カトリック大学教員））と光州地方矯正庁長、大田地方矯正庁長、法務部矯正企画課長、ファソン職業訓練刑務所長、釜山高等検察庁長、慶北北部第１刑務所所長、仁川拘置所所長、義政府刑務所所長ら２０名。
幹事：法務部矯正企画課（現職、矯正公務員）

３．会員構成

正会員：大学の矯正関連分野の全現職教員、矯正関連の博士学位取得者、全・現職矯正関連公務員、判事・検察官及び弁護士の資格を持つ者、法務部長官の委嘱を受けた矯正分野関連者。

一般会員：矯正関連修士学位取得者等
団体会員：学会の目的に合致する団体等

４．主な構成員の研究分野

会長：法学（刑事帳法）
副会長：８名（矯正学、刑事法、犯罪学、弁護士等）
常任理事：２０名
１０名（刑事法、矯正学、犯罪学、青少年学、矯正福祉等）
１０名（現職、矯正公務員（刑務所所長等（法学、社会福祉学、心理学等）））

学術交流協定書（案）

日本更生保護学会と韓国矯正学会は、国際的観点から、学会間の交流と協力を通じて日韓両国の学術的・文化的発展に寄与していくことで合意し、その交流については次のように協定する。

１．両学会は相互の学術活動に協力する。
２．両学会は会員の交流に協力する。
３．両学会は相互の学会関連刊行物及び情報などを交換する。
４．両学会は友好の増進と発展のための交流活動を継続的に協議、実践していく。
５．交流と協力の詳細は「申し合わせ」において別途定める。
６．上記協定の延長及び廃止は双方の協議と合意をもって成立する。

２０１４年１２月６日

日本更生保護学会会長
藤本　哲也

韓国矯正学会会長
朴　相烈

学術交流のための申し合わせ（案）

日本更生保護学会と韓国矯正学会との「学術交流協定書」の第５条に基づき、交流と協力内容の詳細を以下の通り定める。

１．学術交流の目的

両学会ならびに両学会会員の相互交流によって、それぞれの学会活動がより一層充実することを目的とするものとする。

２．学術大会での研究発表

それぞれの学会員は、お互いの学会の学術大会での研究発表に自由に申し込むことができるものとする。発表の採択の可否、種類、日程などの大会運営に関しては、相手国の学会の決定に従うものとする。また、発表に関わる渡航費用は、原則として、発表者個人の負担とするが、宿泊代は主宰する学会の負担とする。

２０１４年１２月６日

日本更生保護学会会長
藤本　哲也

韓国矯正学会会長
朴　相烈